

めざすこども像

地域で学び

地域と関わり

地域で活躍する子ども

くわな特別支援学校は、知的障がいの学校として、平成24年度に開校しました。

本校は「共生社会の実現」をめざし、
地域で働き、地域に貢献することができる人材を育てるために
学校と企業・関係機関が一体となって
職業教育・就労支援を進めていきたいと考えています。

事業所のみなさまへ

障がいのある生徒の就労支援を事業所の皆様と一緒に進めていきたいと考えています。

1. 現場実習の受け入れ

高等部 1～3 年生を対象とした 1～3 週間程度の実習の受け入れ

2. 事業所見学会の実施

生徒・教員等を対象とした事業所の見学

3. 進路学習への協力

校内での請負作業や生徒対象に就労意識やマナー向上に向けての助言

4. 作業学習の技能指導

生徒・教員を対象に作業学習への技能指導や助言

5. 企業内就労体験学習

週に一度の就労体験学習の受け入れ

6. 障がいのある生徒の雇用

3 年生を対象とした実習と連結した雇用

7. アフターフォロー

就労後、職場の適応がスムーズに行えるような相談支援、巡回訪問

現場実習の受け入れにあたって

実習に関して

- ・学習の一環ですので報酬等はいただきません。
- ・交通費・昼食費及び実習に要する費用は保護者が負担します。
- ・現場実習中に万が一けがなどのトラブルや器物破損などが生じた場合は、学校で加入している保険で対応します。
- ・現場実習前に、打ち合わせをさせていただきます。

各学年実習時期および期間

高1

校内実習：6月・10月
現場実習：1月 1週間

高2

現場実習：6月・10月
企業：2週間 福祉事業所：1～2週間

高3

現場実習：6月・10月
企業：3週間 福祉事業所：1～2週間



三重県立くわな特別支援学校

〒511-0811

三重県桑名市大字東方尾弓田1073番地

TEL 0594-87-6064 (高等部)

FAX 0594-25-1165

<http://www.mie-c.ed.jp/skuwan/>



- JR・近鉄桑名駅西口下車 徒歩15分
- 桑名コミュニティバス (K-バス) 北部ルート 尾弓田下車徒歩3分

高等部の就労支援

地域で活躍する子ども

地域と関わり

地域で学び



三重県立くわな特別支援学校

Kuwana special needs school

高等部には、「工場で働きたい」「レストランで働きたい」「事務仕事がしたい」と、卒業後、一般企業などに就職して自立したいと考える生徒、福祉事業所で能力向上を目指したい、自分のペースで社会参画したいと思っている生徒が在籍しています。

現場実習において、学校の外へ出て働く経験は、将来の社会参画や自立に向けた課題を探り、自らの適性や希望する職業について考える貴重な機会となります。



就労に向けた教育活動について

作業学習

自ら進んで働く意欲を身につけ、将来の職業生活や社会生活の自立を目指し生きる力を高めます。作業能力や持続力、他者と協力する力を身につけます。



職業(デュアルシステム)

「職業生活自立コース」で週1日、終日設けられています。1年次2学期以降は企業など、実際の職業現場で体験的な学習を行います。



現場実習

卒業後の就労、進路決定へ向けて一定期間(1～3週間)集中的な現場実習を企業や福祉事業所で行います。



現場実習の様子

一般企業

工場での部品組み立て

車の部品等の組み立てや検品を行います。



運送現場での伝票入力作業

荷物の伝票整理やパソコンにデータ等を入力します。



特例子会社でのリサイクル業務

金属の分別やシュレッダーを使って、紙のリサイクルを行っています。



病院での事務業務

伝票に記載されている用品を棚から出します。パソコンが得意な生徒は、文字や数字の入力操作を行います。



ショッピングセンターでの接客・品出し

ベビー用品や子ども服売り場で、商品の品出しや会計・接客をします。



福祉事業所

就労継続支援A型

雇用契約を結び、支援やサポートを受けながら給与が保障されます。



就労継続支援B型

障がいや体調にあわせて自分のペースで、工賃をいただきながら働きます。



就労移行支援

将来を見据え、一般就労のために必要なスキルを身につけます。



生活介護

支援を受けながら、身体機能や生活能力の向上を目指します。



地域活動支援センター

創作的な活動や生産活動など、好きなことを生かして地域交流しています。

